

平成29年度第3回池田市行財政改革推進委員会 議事要旨

【と き】 平成29年12月19日（火） 午後1時30分～午後3時30分

【ところ】 池田市役所 3階 議会会議室

【出席者】

■委員：中川会長、村瀬副会長、蒲生委員、井尻委員、牛嶋委員、村上委員

■事務局：北浦市長公室長、松浦総合政策部長、藤井人事課長、森本財政課長、
財政課富永主幹、財政課石川主任主事、財政課中村主任主事

【傍聴者】 0名

【内 容】

1) 開会

2) 議事

1. 会長及び副会長の選任について

委員の互選により会長に中川委員、副会長に村瀬委員を選任

2. 池田市行財政改革推進プランⅡ平成29年度中間報告（案）について

=事務局から配布資料について説明=

=質疑応答（抄録）=

委 員：財政調整基金残高の目標は10億円以上(P1)であるが、平成28年度の実績は45億3,500万円(P2)であり、すでに達成済みといえるのではないか。

事 務 局：平成28年度末の残高からすると達成できそうにも見えるが、今後、大型の建設事業が控えていることから楽観視できない状況にある。そのため、手綱を緩めることなく行財政改革に取り組み続ける必要があると考えている。

委 員：一般会計(P2)と普通会計(P3)という文言があるが、一般的に使用されている用語ではないため、その違いについて説明いただきたい。

事 務 局：一般会計は、基本的な市政運営の経費を経理するための本市会計の基幹であり、本市の予算書、決算書に現れているもの。一方、普通会計は、自治体ごとに経理の態様に若干の相違があるため、それを全国比較できるように共通基準で組み替えたものであり、経常収支比率は普通会計に基づいて算定する。

委 員：普通会計職員数(P2)と一般会計職員数(P3)にずれがあるのは何故か。

事 務 局：後期高齢者医療広域連合に本市から派遣している職員がおり、一般会計では計上しているが、普通会計では広域連合との重複計上を避けるため控除していることによる。

- 委員：地域防災リーダー養成講座の開催による防災活動に係る市民参画の推進(P5)について、講座は土曜日や日曜日には開催されていないように思うが、働いている方の平日の参加は難しい。地域防災リーダーには、より若い方の力が必要であると思われるので検討いただきたい。
- 事務局：今年度については、まだ予定の段階ではあるが、平成30年3月開催分は日曜日に実施する見通し。また、地域での活動における高齢化は進んでいるようにも感じる一方で、他方、イベントの形式で開催しているところでは家族連れや若年層も参加していると認識している。若い方の力も必要と認識している。
- 委員：10月にウォンバットカメラをクラウドファンディングを活用して設置したと聞いている。また、ふるさと納税を利用してウォンバットの園舎を改修したと聞いているが、市とどのように関係しているのか。
- 事務局：ウォンバットカメラのクラウドファンディングの件については、五月山動物園の指定管理者である池田みどりスポーツ財団が、公募で資金を集めカメラの設置費用を用意したもの。また、ウォンバットの園舎の改修については、ふるさと納税として、みんなで作るまちの寄付金を活用し、本市が資金を集め、改修工事を実施したもの。
- 委員：テーマパーク構想(P4)とあるがどのようなものか。
- 事務局：池田市のまちづくりを展望していく構想を作っていきたいということで、伏尾台、細河、石橋の3地域について、平成28年3月に住民主体の会議で提言をいただいた。これらの提言を踏まえ、全体をまとめていくテーマパーク構想を作っていくということで、7名の外部の有識者にディレクターとなっただき、3地域に池田を加えた4地域について、ディレクター、地域の方々、関係団体等に入っただき、有識者等懇談会を開催し、今後のまちづくりの展望を議論していただいているところ。
- 委員：進捗状況はどのようになっているのか。
- 事務局：現在、有識者等懇談会を開催し、議論を進めているところ。具体的な施策としては、池田地域なら池田版DMOの構築や、インフォメーションセンターの設置などを予定している。石橋地域では、例えば、図書館、共同利用施設等を複合した施設を地域の拠点施設として整備していく予定。
- 委員：将来的に池田市に人を呼び込むことができるような構想か。
- 事務局：市外にお住まいの方が行ってみたい、住みたいと思うような街、また、今住まれている方がより住みやすいような街にしていくために、こういう取組を今後やっていきますという、まちづくりの方向性を示すような構想として、策定を進めている。
- 委員：市立保育所への民間活力の導入の検討(P13)とあり、目標に五月丘保育所の

ことが触れられているが、市全体のことはないのか。

公共施設等総合管理計画の策定、同計画に基づく市有資産の保有量の見直し及び適切な保全・利活用の検討(P14)について、今は計画が策定できた段階で保全・利活用はまだ先だと思われるが、今後についてお伺いしたい。

池田市社会福祉協議会への委託事業及び補助事業の見直し(P11)の取組状況にある「多機関の協働による包括的支援体制構築事業」など、より内容が理解しやすくなるような表記の検討をお願いします。

事務局：まず、市立保育所への民間活力の導入の検討については、今後、児童数の推移をみながら、さらなる委託化を検討する可能性があるものの、現時点で具体的に明確な方針が出されているのは当該保育所のみとなっている。

次に、市有資産の保有量の見直し及び適切な保全・利活用の検討については、国から平成32年度までに、施設分野ごとに各施設における長寿化計画の策定が求められており、策定にむけて各年度の目標を設定しているところ。平成30年度以降では具体的な施設の現況調査に取り組む予定であるが、平成29年度はまだ準備段階にあるところ。

また、より内容が理解しやすくなるような表記については検討する。

委員：SMS送信サービスの導入と活用(P16)について、内容はどのようなものか。

事務局：現年度の市税滞納者に対し、携帯電話のショートメッセージサービスを利用して納税催告の通知を行うもの。

委員：桃園墓地の整地及び使用権者の募集(P17)のところで、整地を行っているはずなので、取組状況に文言として追加してはどうか。

また、豊能町から旅券に係る窓口業務の受託(P21)のところで、池田市は府から委託を受けて間もないと認識しているが、受託に至った経緯はどのようなものか。

事務局：桃園墓地の整地については平成28年度に実施しており、整地完了後の平成29年度に使用権者の募集を行ったもの。

豊能町から旅券に係る窓口業務の受託の経緯については、本市では平成28年7月から民間への窓口委託を開始していたところに、豊能町が平成29年7月に府から事務移譲を受け、同時に本市の窓口で受託してほしいという申し出があったもの。現行の窓口体制のままで豊能町分も対応できることから、一定の経費を豊能町からいただくことで受託を決定したもの。

委員：市長と市民の直接対話の場の充実(P8)に関して、今後実施の予定があるのであれば、そのように記載するか、ちょっと気ままなティータイムを実施することで代替していると考えるならば、そのように記載を工夫してはどうか。

事務局：表記について検討する。

委員：ジョブローテーションの徹底(P19)について、「達成率」の意味とは。

事務局：近年20代の職員が増加傾向にあるが、10年以内に3部署以上を回るという
ことを見込んでおり、おおまかに4人に1人を想定する。

委員：ここでの達成率は単年度か。

事務局：お見込みのとおり。

委員：報道機関への記事提供(P7)のところで、「69件の情報を提供し、記者会見
を2回行った」とあるが、どのような観点での情報提供、会見か。

事務局：記者会見は市議会開催のタイミングで、市の取組を記者に説明したものであ
り、情報提供は、随時、市政に関する情報をメール等で提供しているもの。

=中川会長より総括=

3) 事務連絡

事務局から今後の予定について説明

4) 閉会